

施政方針に対する各会派の総括代表質問

2月27日に行われた行財政全般にわたる今後1年間の市長の施政方針に対し、3月6日に各会派の代表が総括代表質問を行い、市長の姿勢や考えを質問しました。主な内容は次の通りです。

なお、施政方針の概要は広報ひがしくるめ（3月15日号）に、全文は東久留米市ホームページに掲載されています。

目次

若い世代が移り住む魅力あるまちに

【質問】 今後の人口見直しとシティーセールス。

【市長】 令和12年の人口は約5千人減少、年少人口は約1ポイント減少し11%、生産年齢人口は約1ポイント減少し58.4%、老年人口は2ポイント程度上昇して30.6%となる見込み。令和22年の人口はさらに約5千人減少、生産年齢人口は6ポイント弱減少の53.7%、老年人口は7ポイント強上昇して35.6%となる見込み。引き続き若い世代が移り住む魅力あるまちづくりに向け取り組んでいく。

【質問】 公共施設の維持更新等について伺う。

【市長】 施設整備プログラムに沿って年度間の平準化を図りながら、計画的な改修工事等を行っている。また、公共施設等総合管理計画に基づき、集約化や複合化を図るほか、貸付や売却、他の行政サービスでの利活用などの対応も検討していく。

【質問】 ①自助・共助・公助の在り方、②災害への備え、③消防団を中核とした地域防災力の充実強化は。

【市長】 ①防災訓練等への参加により自助・共助の重要性を理解していただく。公助に関しては、国や都など関係機関と連携し災害対応を行う。②防災情報の発信、計画的な備蓄、避難所運営連絡会の拡充、自主防災組

織の追加、防災講演会の推進などを強化したい。③消防団の充足率は約9割で今後も団員確保に努める。また、配備予定の救助用資機材の訓練・講習を実施する。

【質問】 国民健康保険制度の法定外繰入解消等に向けた対応は。

【市長】 決算補填等目的の法定外一般会計繰入の削減は、計画的・効率的に健全化へ向けた取り組みを進め、必要に応じて国保財政健全化計画の見直しや法定外繰入等の早期解消を図るインセンティブ措置を活用しながら保険抑制抑制等を図ることも必要である。

【質問】 ①令和2年度当初予算案、②民生費の推移と今後の見直し、③財政調整基金残高の確保と市債、財政規律について伺う。

【市長】 ①一定の財政規律を堅持した上で、重点施策を念頭に優先順位付けし、事業効果を勘案する中で財源を配分できた。②令和2年度の民生費は、約20億6千万円。平成28年度当初予算比で約23億6千万円、約11%の増加。今後も一定の増加傾向が見込まれる。③持続可能な市政運営のため、一定の財政規律を設けていく必要がある。

【質問】 地方公共団体における持続可能な開発目標（SDGs）についての認識と長期総合計画との関連は。

【市長】 国のSDGs実施指針の年限は、次期長期総合計画の計画期と一致しており、市の取り組みと相通じるものと捉えている。基本構想審議会ではこうした視点でも議論いただいている。

【質問】 商業施設の進出等による上の原地区の活性化、活性化、税収増等のメリットや評価は。

【市長】 法人市民税や固定資産税の収入増に限らず、事業活動、雇用や周辺地域への波及効果は大きい。

【質問】 ふるさと納税ポータルサイト掲載による寄付額や件数の見直し、クレジット決済への対応、魅力ある返礼品等の取り組みは。

【市長】 20万円程度の寄付を見込んでいた。また、クレジット決済が可能となる。品目の追加も含め、拡充に取り組む。

【市長】 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や子育て世代の経済的負担軽減を図る少子化対策の観点などから国が進めてきたもので、その目的に資するものとなった。

【質問】 引きこもり等の社会参加支援への取り組みは。

【市長】 社会福祉協議会へ委託し、地域福祉コーディネーター配置事業のアウトリーチ活動を通じ、ボランティアへの参加の働きかけや就労支援などに着手した。

【質問】 令和3年度の全中学校体育館エアコン設置の方向性は間違いはないか。そのため、令和2年度に取り組みすべきことは。

【市長】 中学校7校を対象にした整備計画書が都教育委員会へ提出されている。令和2年度はどのような対応が合理的か研究を進める。

【質問】 スポーツ・健康都市宣言の趣旨を周知する機会として、市民体力測定等の開催を提案するが。

【市長】 既存事業を拡大して実施するなどの対応は、並行して検討する。

【質問】 旧第八小学校用地の都への売却の進捗と課題は。

【市長】 同用地の売却には、都から都立六仙公園の利用促進の方法を求められている。同公園と周辺の環境資源を有機的につなげるため、向山緑地公園の拡充・整備を検討していることなど、利用促進策を伝えた。

【質問】 豪雨対策として、河川監視カメラの設置は。

【市長】 黒目川や落合川への整備を都へ働き掛ける。

【質問】 幼児教育・保育の無償化の効果・成果は。

【市長】 より多くの定員確保のため、指導訓練室を改修して定員を32名とし、令和元年第4回市議会定例会で条例可決されている。

【質問】 一般会計からの繰り入れによる国民健康保険税の値上げ抑制と多子世帯軽減の実施を求めているが。

【市長】 国の「令和2年度の地方財政の見直し・予算編成上の留意事項について」の通知には、決算補填が目的の法定外繰入等の早期解消に取り組むことと明記されている。多子世帯軽減については、市長会を通じて、国や都に働き掛けている。

【質問】 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に向け、特別養護老人ホームの増設を求めているが。

【市長】 入所待機者の状況や施設の稼働状況などを把握し、中長期的な視点で整備の必要性を検討していく。

【質問】 避難所の備蓄品と備蓄倉庫の拡充は。

【市長】 市内指定避難所に設置の防災倉庫は、設置場所や施設の制約などによりさまざまな大きさだが、毎年計画的な備蓄を進めている。備蓄倉庫は分散備蓄の考え方にに基づき進めている。

【質問】 コミュニティバス・タクシースの実施を求めているが。

【市長】 道路の幅員等の状況から公共交通空白地域の解消は難しい。

【市長】 予算案も実施事業も内容が乏しく継続的な項目が多いのでは。

【市長】 令和2年度予算編成では、義務的経費や経常経費を賄いながら、計画された事業をいかに盛り込むか、苦渋の選択を強いられる場面もあった。事務事業では、それぞれ状況に応じた対応検討を進めている。

【質問】 幼児教育保育無償化に伴う財源負担の前年度比負担増の額は。

【市長】 事業費は約7億5千万円、一般財源では約1億3千万円増加している。

【質問】 業務プロセスの効率化について、庁内の定型的で単純な業務の抽出はできているのか。

【市長】 RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）は、財務会計システムと課税課の一部の業務に導入した。導入拡大に向け令和2年度予算にも必要経費を計上した。

【質問】 北部・北西部地域の公共施設再編成に関し、これまでの検討経過での課題等を整理し、市民や議会に中間的な報告をすべきでは。

【市長】 公共施設マネジメント推進委員会の下部組織の推進部会で検討しており、その結果を同委員会でもさらに修正・調整等が加えられしていくことから、現段階で中間報告を行う予定はない。

【質問】 中央図書館の大規模改修にかかる国の補助と市の負担額は。

【市長】 国の間接補助であるカーボンマネージメント強化事業助成金、都のユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業補助金の活用を見込んでおり、これら特定財源の確保に努める。

【市長】 必要に応じてスクーラルカウンセラーを活用するなど、丁寧な対応に努める。

【質問】 低・中所得者の生活は厳しい状況下、保険税率の値上げ改定が可能なのか。

【市長】 低所得者に係る保険料軽減の拡充や中間所得者層の負担軽減につながる課税限度額の見直しも盛り込み、国民健康保険運営協議会からの答申も踏まえ、本定例会に議案を提出した。

【質問】 令和2年度のしんかわ保育園への対応は。

【市長】 保護者の意見も伺いながら、在園児が卒園まで継続できる市政、発展する市政運営に励み、夢と希望を

【市長】 二元代表でもある議会が市民から選ばれている点からも、慎重であるべき。

【市長】 下里小学校閉校後、

受け入れ校の第七小学校と第十小学校での心のケアは。

【市長】 必要に応じてスクーラルカウンセラーを活用するなど、丁寧な対応に努める。

【市長】 低・中所得者の生活は厳しい状況下、保険税率の値上げ改定が可能なのか。

【市長】 低所得者に係る保険料軽減の拡充や中間所得者層の負担軽減につながる課税限度額の見直しも盛り込み、国民健康保険運営協議会からの答申も踏まえ、本定例会に議案を提出した。

【市長】 令和2年度当初予算案、②民生費の推移と今後の見直し、③財政調整基金残高の確保と市債、財政規律について伺う。

【市長】 一定の財政規律を堅持した上で、重点施策を念頭に優先順位付けし、事業効果を勘案する中で財源を配分できた。②令和2年度の民生費は、約20億6千万円。平成28年度当初予算比で約23億6千万円、約11%の増加。今後も一定の増加傾向が見込まれる。③持続可能な市政運営のため、一定の財政規律を設けていく必要がある。

【市長】 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や子育て世代の経済的負担軽減を図る少子化対策の観点などから国が進めてきたもので、その目的に資するものとなった。

【質問】 引きこもり等の社会参加支援への取り組みは。

【市長】 社会福祉協議会へ委託し、地域福祉コーディネーター配置事業のアウトリーチ活動を通じ、ボランティアへの参加の働きかけや就労支援などに着手した。

【質問】 令和3年度の全中学校体育館エアコン設置の方向性は間違いはないか。そのため、令和2年度に取り組みすべきことは。

【市長】 中学校7校を対象にした整備計画書が都教育委員会へ提出されている。令和2年度はどのような対応が合理的か研究を進める。

【質問】 スポーツ・健康都市宣言の趣旨を周知する機会として、市民体力測定等の開催を提案するが。

【市長】 既存事業を拡大して実施するなどの対応は、並行して検討する。

【質問】 旧第八小学校用地の都への売却の進捗と課題は。

【市長】 同用地の売却には、都から都立六仙公園の利用促進の方法を求められている。同公園と周辺の環境資源を有機的につなげるため、向山緑地公園の拡充・整備を検討していることなど、利用促進策を伝えた。

【質問】 豪雨対策として、河川監視カメラの設置は。

【市長】 黒目川や落合川への整備を都へ働き掛ける。

【質問】 幼児教育・保育の無償化の効果・成果は。

【市長】 より多くの定員確保のため、指導訓練室を改修して定員を32名とし、令和元年第4回市議会定例会で条例可決されている。

【質問】 一般会計からの繰り入れによる国民健康保険税の値上げ抑制と多子世帯軽減の実施を求めているが。

【市長】 国の「令和2年度の地方財政の見直し・予算編成上の留意事項について」の通知には、決算補填が目的の法定外繰入等の早期解消に取り組むことと明記されている。多子世帯軽減については、市長会を通じて、国や都に働き掛けている。

【質問】 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に向け、特別養護老人ホームの増設を求めているが。

【市長】 入所待機者の状況や施設の稼働状況などを把握し、中長期的な視点で整備の必要性を検討していく。

【質問】 避難所の備蓄品と備蓄倉庫の拡充は。

【市長】 市内指定避難所に設置の防災倉庫は、設置場所や施設の制約などによりさまざまな大きさだが、毎年計画的な備蓄を進めている。備蓄倉庫は分散備蓄の考え方にに基づき進めている。

【市長】 RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）は、財務会計システムと課税課の一部の業務に導入した。導入拡大に向け令和2年度予算にも必要経費を計上した。

【質問】 北部・北西部地域の公共施設再編成に関し、これまでの検討経過での課題等を整理し、市民や議会に中間的な報告をすべきでは。

【市長】 公共施設マネジメント推進委員会の下部組織の推進部会で検討しており、その結果を同委員会でもさらに修正・調整等が加えられしていくことから、現段階で中間報告を行う予定はない。

【質問】 中央図書館の大規模改修にかかる国の補助と市の負担額は。

【市長】 国の間接補助であるカーボンマネージメント強化事業助成金、都のユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業補助金の活用を見込んでおり、これら特定財源の確保に努める。

【市長】 必要に応じてスクーラルカウンセラーを活用するなど、丁寧な対応に努める。

【質問】 低・中所得者の生活は厳しい状況下、保険税率の値上げ改定が可能なのか。

【市長】 低所得者に係る保険料軽減の拡充や中間所得者層の負担軽減につながる課税限度額の見直しも盛り込み、国民健康保険運営協議会からの答申も踏まえ、本定例会に議案を提出した。

【質問】 令和2年度のしんかわ保育園への対応は。

【市長】 保護者の意見も伺いながら、在園児が卒園まで継続できる市政、発展する市政運営に励み、夢と希望を

【市長】 二元代表でもある議会が市民から選ばれている点からも、慎重であるべき。

【市長】 下里小学校閉校後、

受け入れ校の第七小学校と第十小学校での心のケアは。

【市長】 必要に応じてスクーラルカウンセラーを活用するなど、丁寧な対応に努める。

【質問】 低・中所得者の生活は厳しい状況下、保険税率の値上げ改定が可能なのか。

【市長】 低所得者に係る保険料軽減の拡充や中間所得者層の負担軽減につながる課税限度額の見直しも盛り込み、国民健康保険運営協議会からの答申も踏まえ、本定例会に議案を提出した。

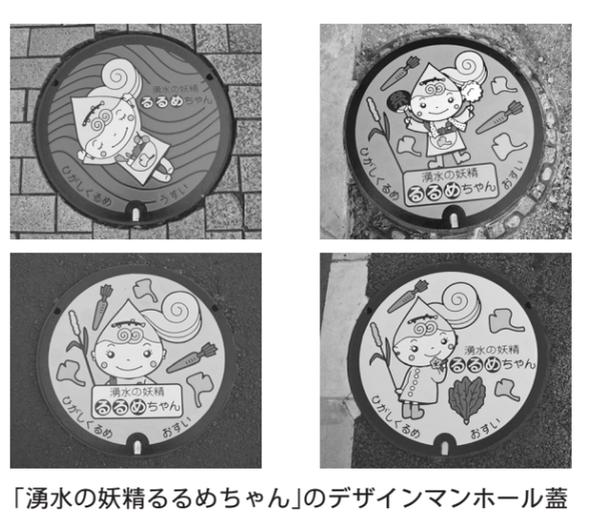
【質問】 令和2年度のしんかわ保育園への対応は。

【市長】 保護者の意見も伺いながら、在園児が卒園まで継続できる市政、発展する市政運営に励み、夢と希望を

【市長】 二元代表でもある議会が市民から選ばれている点からも、慎重であるべき。

【市長】 下里小学校閉校後、

受け入れ校の第七小学校と第十小学校での心のケアは。



「湧水の妖精るるめちゃん」のデザインマンホール蓋